

2016年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録5限目》

《講座のメインテーマ》

犠牲者ゼロを目指す、
地域防災の進め方

記録：講座協力委員 中島光明

◆開催月日：2016年11月10日(木) 13:30～17:00

◆開催場所：KU ポートスクエア



進行：高松清美さん

◆本日のテーマ◆ 神奈川県の防災戦略と生き残りの考え方

・前半：神奈川県の地震防災戦略 ～公助の限界、自助・共助で被害を減らす～

講師：杉原 英和 氏(神奈川県 安全防災部長)

・後半：災害対策用ゲームの紹介 と「防災めぐり」生き残り編の体験

講師：森 清一 氏(防災塾・だるま 副塾長)



講師：杉原英和氏

前半《神奈川県の地震防災戦略》

【神奈川県地震被害想定調査】

◇想定地震の内、最も被害量の大きい「大正型関東地震」を想定して
地震防災戦略を策定

死者・重傷者 87,750 人、全半壊建物 803,800 棟、火災焼失 169,780 棟

◇減災目標：大正型関東地震の死者数を概ね半減、平成 36 年までに（対象期間）

◇減災目標の達成に向けた重点施策①～③⑩

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/814340.pdf>

・・・P9～P55

【減災コラム】

過去の震災の被害状況、様々な減災のための手法、訓練の内容など、県民が減災対策に取り組むために参考になる情報を集めた読み物（情報：①～③⑩）・・・P7～P56

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/819472.pdf>

例>③新耐震基準と旧耐震基準、⑥シェイクアウト訓練、

⑬EMIS（広域災害救急医療情報システム）、

⑮帰宅困難者の心得、⑳自主防災組織 など

《基本的な考え方》

- 「県民の命を守る」ことを最優先に
- 自助・共助・公助が一体となった取組の推進

《まとめ》

- ◇不意の地震に 不断の準備を！
- ◇助け出される人より、助け出す人に。



講師：森 清一氏

後半《災害対策ゲームと「防災めぐり・生き残り編」の体験》

●災害対策用ゲームは、災害を図上で仮想体験することにより、災害のイメージを体験学習するゲームです。

●ゲーム体験の目的：

- ・災害時の行動は、事前にイメージできていること以外ではできない。
- ・厳しい状況を乗り越えるには、事前に課題を見出して対処しておく必要がある

●ゲームの種類：

- ①災害図上訓練(DIG)、②目黒巻、③発災直後の行動ゲーム(J-DAG)、④避難所運営ゲーム(HUG)、⑤災害対応ゲーム(クロスロード)、⑥災害対応ゲーム(防災めぐり)



ゲーム考案：片山さん

第5回アイスブレイク：伊東幸保さん

《「家族会議」を開いて下さい！》

「いざと言う時の対策を話し合う」

避難先、避難ルート、安否確認、
備蓄品、非常持出し品など



《まとめ》

- ◇自分がまず「生き残ること」に努める
- ◇そのためには、平時にどこまでイメージできるかで決まってしまう。

「防災めぐり」体験の主な感想

- ・それぞれ自分の意見を出すので、考え方の違いが解り参考になった。
- ・ゲーム体験は盛り上がり楽しく学習できた。